

石巻市立雄勝小学校	津波浸水の状況	2階建て校舎の屋上越え
	建物の被害	全壊
	人的被害	児童1名（当時2年生男子）
	避難者数（最大）	名（場所：）

1 被災直後の状況

【3月11日】

- ・1～4年生は下校（64名）。学校には5～6年生（36名）と4年生4名が下校準備をしていた。
- ・《午後2時46分》地震発生
- ・14:50頃 校舎内に残っていた児童を校庭に避難させ、各担任で人員確認を行う。（一時避難）
迎への保護者や避難してきた地域住民も一緒に行動するよう呼びかけた。
- ・14:55頃 一時揺れはおさまったが、津波の恐れがあるため、第二次避難場所の新山神社へ移動させた。
（すでに下校した児童や保護者と下校した児童もあり、この時点での児童は37名）
- ・15:00頃 かなりの大津波が予想されるため、第二次避難場所の新山神社より高台にある忠魂碑のところに第三次避難として移動させたが、念には念を入れ第四次避難としてさらに裏山に登ることにした。（児童等は中腹あたりで待機させた）
- ・15:15頃 大津波が防潮堤を超えたとの情報が入ったため、児童及び雄勝保育所園児、地域住民等にさらに山をあがるよう指示した。
- ・15:25頃 大津波襲来。体育館を破壊し校舎にぶつかる音を聞く。児童及び地域住民等と山に登り、釜谷トンネルができる前に利用していた旧道に出て、現在使われていないクリーンセンターを目指すことにする。
- ・16:30頃 クリーンセンターに到着。雄勝小学校関係は児童37名、教職員16名。その他雄勝保育所の職員と園児等11名も一緒であった。
（ ※ 一夜を明かすが、飲食一切なし。 ）

【3月12日】

- ・6:00頃 雄勝小学校の職員で打ち合わせ。男子職員は状況確認へ、女子職員は児童管理。
（*児童の体調不良者なし）
- ・7:30頃 ヤクルト様から飲み物を児童に差し入れあり。
- ・8:00頃 男子職員はいったん戻り、釜谷トンネル方面の確認に向かう。
男子職員3名をそのまま河北支所及び市教委へ向かい状況報告をするよう指示する。
（*保護者及び親類、地域の人の子の引き取りあり。6名）
- ・9:00頃 点呼 31名
（*9:30頃～10:00頃 保護者及び親類等の引き取りあり。5名）
- ・10:30頃 児童へ小さな白飯おにぎりを1個ずつ配る（消防団から）
- ・11:00頃 消防団と相談し、クリーンセンターから周辺地区が残っており救援が入りやすい森林公園へ移動することにする。
- ・11:20頃 森林公園へ移動開始。（一部徒歩は入るが、消防団のピストン輸送あり）
- ・12:00頃 移動完了。森林公園のテントへ。
- ・13:00頃 森林公園に昨日から避難していた児童について点呼確認をする。（12名）
（*雄勝小学校児童は 38名）
- ・17:30頃 食事の配給有。カレーライスと味噌汁、水。
河北支所の方が、雄勝小学校職員から校長の言づけを聞いたとのことで、水と食料を

届けに来た。

- ・ 18:00 頃 水浜，分浜地区は全員無事らしいとの情報あり（地域消防団より）
* 中央公園，火葬場方面に避難し，無事の児童ありとの情報あり。
- ・ 19:00 頃 情報をもとに誰といるか，どこにいるか，現時点でわかる分をまとめ，消息不明の児童の割り出しを開始する。
- ・ 19:40 頃 消息不明は12名，いるらしい30名，確認62名，計104名。
放射能の情報により児童をテントから管理棟へ移動させる。職員はそのまま外のバーベキューハウスにて待機。
- ・ 21:00 頃 河北総合センター（ビックバン）に避難している保護者がいるとの情報あり。支所の方の車に本校職員1名を同乗させ名簿を持ち河北ビックバンに向かわせる。

【3月13日】

- ・ 6:00 頃 雄勝小学校職員で打ち合わせ。下記の事項を確認する。
* 森林公園に避難している児童の引渡しが完了次第，職員も各自の自宅確認へ。
（途中まで雄勝中の校長先生，教頭先生，教諭1名の車に便乗し真野経由で。
そのあとは各自徒歩。）
* 電話がつながり次第連絡網で集合。（校長から指示）
* 3/14は，振休扱い。校長は事務所及び市教委へ状況報告に行く予定。
- ・ 9:00 頃 雄勝中学校の先生方の車3台に分乗し，真野経由で石巻市内に向かう。稲井地区の398号線と33号線の交差点付近で解散する。
- ・ 15:30 頃 校長は市教委に行き，雄勝地区の状況報告を行った。

【3月14日～学校再開まで】

- ・ 3月16日
* 携帯電話が使えるようになり，全職員で手分けして電話連絡にて児童の安否確認。
- ・ 3月24日
* 中里小学校の児童クラブ室を借用し，職員集合，打合せを行う。
（4月5日まで，児童クラブ室を職員室として借用し連絡調整を行う。）
* 教職員で手分けし，各避難所等を巡回。児童・保護者の安否確認とケアに努める。
（～学校再開まで）
- ・ 4月 1日
* 一斉赴任。新任及び転入事務職員着任。
* 雄勝地区及び避難所の巡回。児童及び保護者の心のケアに努める。
- ・ 4月 4日
* 新年度に向けての準備。児童の動向について，保護者に確認。
- ・ 4月 5日
* 全壊の雄勝小学校へ行き，物品等の搜索及び回収。午後は避難所回り。
- ・ 4月 6日
* 二俣小学校に移動。職員室を開設。修了式の準備。
- ・ 4月 7日
* 一斉登校日。平成22年度修了式。 （卒業式は7月に行う旨伝えた）
* 雄勝小学校の再開に向けての保護者説明。
4月8日～20日教育活動再開準備のため臨時休業とする旨伝える。
* 職員会議
* 避難所回り。

- ・ 4月11日
 - * 新年度準備。
 - * 河北中学校への引っ越し準備。
- ・ 4月12日
 - * 平成23年度雄勝小学校を河北中学校に開設する。
- ・ 4月14日
 - * 保護者説明会。(14:00から河北中学校にて)
市教委から河北中学校での教育活動の再開についての説明と、スクールバスの運行についての説明があった。
- ・ 4月15日
 - * 転入職員1名着任。
 - * 雄勝小学校校舎にて、物品等の搜索及び回収。
- ・ 4月16日
 - * 平成23年度、河北中学校で教育活動を開始するにあたり引っ越し作業を行う。
- ・ 4月18日
 - * 児童用椅子、机の設置。(一部東京アメリカンスクールより寄贈)
- ・ 4月21日
 - * 平成23年度第1学期始業式。

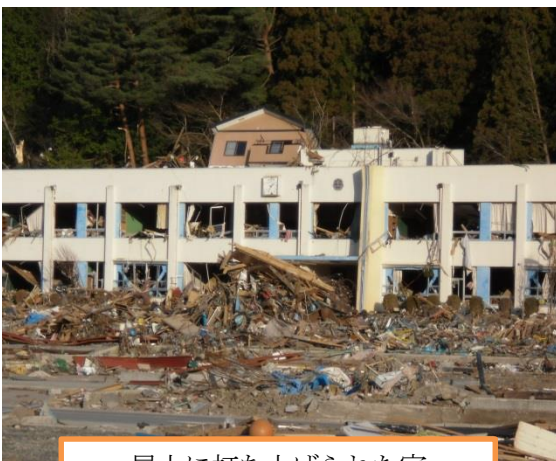
2 被災時の写真



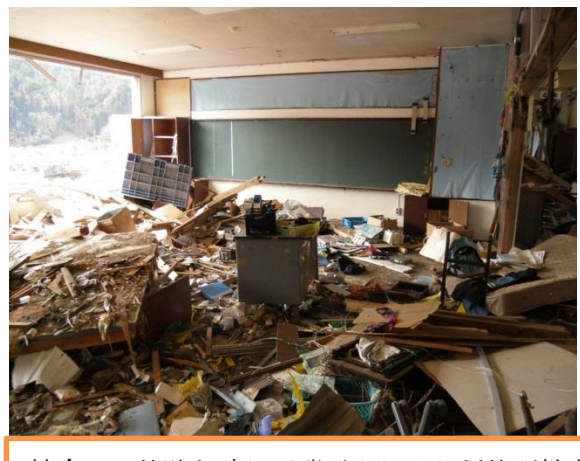
校舎北側の廊下まで押し寄せた瓦礫



直前の授業の板書が残る黒板(校舎2F)



屋上に打ち上げられた家



校舎1F外壁を破り瓦礫が入り込んだ特別教室

3 被災時に見られた課題と具体的な改善策

課 題	改 善 策
1 保護者との連携 (連絡方法)	・電話、交通路等すべて遮断された時の、保護者との連絡と連携について、事前に共通理解を図るべきであるとの見解から、児童・保護者用及び教師用の地震発生時対応マニュアルを各々作成し、各家庭及び教職員に配付し引き渡しについての共通理解を行った。
2 避難訓練の内容、時期、回数等	・危機管理意識をもたせる上でも、避難訓練は有効である。そこで、本校では平成 23 年度から年 5 回の避難訓練を行っている。
3 避難計画 (避難経路含む)	・平成 2 3 年度から 2 4 年度までは河北中学校で、平成 2 5 年度からは石巻北高飯野川校地内仮設校舎での教育活動を行っている。それに伴い、その都度現状に沿った避難経路を確認し軌道修正しながら、教職員で共通理解を図り指導にあたっている。
4 地域、関係機関との連携	学校区内のほとんどが津波の被害を受け壊滅した。住民は様々な場所の仮設に住まいを移したため、地域のコミュニティーの活動もほとんどないに等しい状況にある。学校として現在は、民生児童委員及び仮設団地代表者会を核とした連携の基礎を立ち上げ、安全な学校生活の基礎を創っているところである。

4 震災から得た教訓

- 保護者との確実な連絡体制の確立
→ より確実で正確な情報をやり取りするための体制を整えていく必要がある。
- 地域や保護者との連携
→ 今回の震災では、地域の方々からの助言で命を守ることができたといっても過言ではない。いかに日頃から、学校と地域が一体となって児童を見守ることが大切かを実感させられた出来事であった。
- 避難訓練の充実
→ 第一次避難～第三次避難までは、学校行事の避難訓練で行っていたが、さらに今回の震災では第四次避難が必要となった。また、クリーンセンター等避難所の確認も重要である。教職員や P T A で事前の確認や足場の下草払い等も行っておくとよい。
- 防災教育の充実
→ 地震・津波だけでなく、さまざまな災害について知り、どこにいても「自分の身は自分で守る」ことができるように理解を深めるとともに、災害時に即座に行動できる児童を育成する必要がある。
- 各家庭での確認
→ 万一のときには、親、子、バラバラに避難することとなる。各家庭において地震のとき、津波警報のとき、大雨警報のとき等、どう動くかについて話し合っておくべきである。「津波でんでんこ」は大切な合言葉と考える。
- 備蓄について
→ 学校として、いつ何時、何が起きるかわからないことを想定し、水、食料、毛布、トイレ用ビニル袋等、最低 3 日分は備蓄しておきたい。

5 本校の犠牲者

児童 1 名(当時 2 年生)…地震発生時すでに帰宅していた。学校近くの自宅 2 階に家族(祖父母・母)とともに避難していたが家ごと流され、犠牲となる。